

この資料は、BAT 英国本社が 2024 年 7 月 25 日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約したもので、資料の内容および解釈については英語が優先されます。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。英語版は [こちら](#) をご参照ください。

プレスリリース 2024 年 7 月 25 日

British American Tobacco p.l.c.

2024 年 6 月 30 日 上半期決算報告書

スモークレスな世界を築く

通期業績予想の達成に向けて進展



タデウ・マロッコ最高経営責任者は、次のように述べています。

「BAT は、スモークレスな世界を築いています。当社のスモークレス製品の利用者数は 140 万人増加の 2,640 万人¹ となり、グループ全体の売上高に占める割合は 17.9% と 2023 年度に比べて 1.4 ポイント上昇しました。

2024 年上半期の業績は予想通りの水準となり、通期予想の達成に向けて順調に推移しています。

質の高い成長を重視した戦略が効果を発揮しており、3 つの新カテゴリー製品全般に対する重点的な投資によるリターンが改善しています。2024 年上半期の新カテゴリー製品の既存事業ベースの貢献度は 1 億 6,500 万ポンド（同一為替レートベース）増加し、特にモダン・オーラル製品の成長は高く評価できます。通期でも、新カテゴリー製品全般の売上高と収益性の一層の改善を見込んでいます。

当社の Vuse Alto デバイスおよびそのたばこフレーバーポッドの販売が米食品医薬品局（FDA）により承認されたことは喜ばしいことであり、これらの製品の販売が公衆衛生の保護という観点から見て適切であることが証明されました。しかし、米国の違法な使い切りタイプのペイプ製品に対する取り締まりが遅れていることに加え、2023 年のロシアおよびベラルーシ事業の売却による影響で、2025 年度の新カテゴリー製品の売上高は目標の 50 億ポンドを下回る可能性が高いと予想されます。

AME（米国を除く南北アメリカおよび欧州）地域と APMEA（アジア太平洋・中東・アフリカ）地域における燃焼式たばこ製品の既存事業ベースの業績は堅調で、数量ベースのシェアが拡大しました。その効果は米国事業により相殺されましたが、米国でも、コマーシャルプランが牽引してプレミアム製品に牽引される形で数量ベースのシェアに回復の兆しが見られ、金額ベースのシェアの低下ベースも前期に比べて改善しています。とはいえ、米国では厳しいマクロ経済環境と違法な使い切りタイプのペイプ製品に対する有効な規制が依然として導入されていないことを反映して、業界全体で燃焼式たばこ製品の販売数量の減少傾向が続いています。

まだなすべきことはありますが、BAT は順調に前進しており、新カテゴリー製品の投入と燃焼式たばこ製品の強化を目的とした上半期中の投資が効果を発揮し始めています。米国の卸売在庫の変動が一巡する見通しであることも踏まえ、下半期には業績改善が加速すると確信しています。

当社の事業は極めてキャッシュ・ジェネラティブであり、高水準のキャッシュリターンを通じた株主還元を継続していくことを重視しています。財務上の柔軟性が向上しており、継続的な自社株買いを開始することが可能になりました。

精緻化された戦略のもと、着実な業績改善を実現し、2026 年までに同一為替レートベースで既存事業の 3~5% の売上高成長率と 1 桁台半ばの調整後営業利益成長率を達成できると確信しています」

上半期の概要

- 2023 年 9 月のロシアおよびベラルーシ事業の売却ならびに為替換算差損によるマイナス影響を反映して、売上高は 8.2% 減少（同一為替レートベースでは 3.7% 減少）
- 既存事業の売上高は、米国地域のコマーシャルプランへの投資と卸売業者の在庫変動によるマイナス影響を主に反映して同一為替レートベースで 0.8% 減少
- 新カテゴリー製品の売上高は 0.4% 減、既存事業ベースでは同一為替レートベースで 7.4% 増
- 新カテゴリー製品の段階的な革新、上半期における米国地域でのコマーシャルプランによる効果の本格化、卸売在庫の変動の一巡が貢献して、下半期には収益成長が加速する見込み

- グループ全体の売上高に占めるスモークレス製品の割合は 2023 年度比で 1.4 ポイント上昇の 17.9%
- 新カテゴリー製品による売上貢献度は既存事業および同一為替レートベースで 1 億 6,500 万ポンド増加
- 燃烧式たばこ製品の価格設定は良好、AME および APMEA 地域における数量および金額ベースのシェアの上昇を米国地域が相殺
- 米国の燃烧式たばこブランドに関連した減価償却費の増加と前年同期がロシアおよびベラルーシ事業を含んでいたことを反映して、営業利益は 28.3%減（営業利益率は 9.7 ポイント低下の 34.5%）
- 既存事業の調整後営業利益は同一為替レートベースで 0.9%減、調整後営業利益率は 44.9%で横ばい
- 一時的な項目である ITC 株の売却収益と正味金融費用/収益の計上を主に反映して、希薄化 1 株当たり利益（EPS）は 13.8%増加の 200.3 ペンス
- 既存事業の調整後希薄化 EPS は同一為替レートベースで 1.3%増
- ITC 株の一部売却により、2024 年の 7 億ポンド、2025 年の 9 億ポンドを皮切りに継続的な自社株買いの開始が可能に

決算のハイライト	公表値		調整後 ²		調整後 既存事業ベース
	実勢	前年比	実勢	前年比	前年比
2024 年上半期	為替レート	(実勢為替レート)	為替レート	(同一為替レート)	(同一為替レート)
紙巻たばこおよび加熱式たばこの数量ベースのシェア		+0.3 ポイント			
紙巻たばこおよび加熱式たばこの金額ベースのシェア		-0.2 ポイント			
スモークレス製品の利用者 ¹	2,640 万人	+140 万人			
売上高	123.40 億ポンド	-8.2%	123.40 億ポンド	-3.7%	-0.8%
新カテゴリー製品売上高	16.51 億ポンド	-0.4%	16.51 億ポンド	+3.1%	+7.4%
営業利益	42.58 億ポンド	-28.3%	55.64 億ポンド	-3.5%	-0.9%
新カテゴリー製品の貢献度 ⁴			1.29 億ポンド	n/m	n/m
営業利益率	34.5%	-9.7 ポイント	45.1%	+0.1 ポイント	横ばい
希薄化 1 株当たり利益（EPS）	200.3 ペンス	+13.8%	169.3 ペンス	-2.1%	+1.3%
営業活動による正味キャッシュフロー	31.65 億ポンド	-6.2%			
営業活動による調整後キャッシュフロー			22.37 億ポンド	+20.0%	
キャッシュ・コンバージョン	74.3%	+1.7 ポイント	78.4%	5.6 ポイント	
借入金 ⁵	401.58 億ポンド	-4.8%			
調整後純負債			329.73 億ポンド	-12.4%	

調整後利益および同一為替レート等の非 GAAP ベースは、英語版決算報告書の 39 頁以降に比較可能な IFRS（国際会計基準）の定義を提示してありますのでご参照ください。

注釈：

- 社内推定値、過去の推定値の修正の詳細については英語版決算報告書の 34 頁を参照。
- 調整項目の詳細については英語版決算報告書の 21 頁を参照。
- 既存事業ベースの指標は、すべての期間の既存事業ベースの比較を可能にするため、売却された事業（ロシアおよびベラルーシ事業を含む）または買収した事業、および業績に影響を及ぼす持続的な構造変化の過程にあり当期および比較対象となる期間の当グループの業績に関する解釈に大きな影響を与える可能性のある事業を除外している。
- 2023 年上半期には新カテゴリー製品は調整後ベースで 1,200 万ポンド、調整後既存事業ベースで 2,900 万ポンドの損失となったため、比較が成立しない。
- リース債務を含む。